

研究課題名	脳外科手術術後の気道合併症の検討
研究期間	実施許可日 ～2026年3月31日
研究の対象	2014年4月～2019年3月の間に広島大学病院で施行された脳外科手術を受けられた方
研究の目的・方法	気管チューブ抜去後の嘔声は、脳外科手術後に一定の割合で出現します。多くの場合は、気道合併症を起こすことなく経過しますが、まれに声帯麻痺による呼吸困難を引き起こすことがあります。今回、脳血管手術後の気道合併症を起こした症例を抽出し、その発生率及び発生状況、術中経過などを検討することで今後の対策の参考とします。
研究に用いる試料・情報の種類	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は年齢、性別、身長、体重、病名、術式、手術時間、麻酔時間、術中体位、水分バランス、気管挿管方法、使用した気管チューブの種類と径、気管挿管困難の有無、抜管時の経過、術後の嘔声の有無、術後の気道合併症の有無とその内容、気道合併症を発症した場合は、その治療方法と治療後の経過、入院期間、転帰について検討します。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)
外部への試料・情報の提供	本学単独研究で外部への提供はありません。
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日（2019年11月25日）以降
個人情報の保護	試料・情報は解析する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないようにします。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学大学院医系科学研究科麻酔蘇生学 教授 堤 保夫
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としないので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた

情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。

また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

広島大学病院 麻酔科 助教

担当者：加藤 貴大

〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3

電話番号：082-257-5267